

成形加工トラブル対策・第二弾！

第238回ゴム技術シンポジウム

成形加工設備の進展と各種ゴム材料の成形加工技術の進歩 —汎用ゴム，高性能特殊ゴム加工におけるトラブル対策—

主催：一般社団法人日本ゴム協会 研究部会 成形加工技術研究分科会
協賛：高分子学会，自動車技術会，石油学会，繊維学会，日本化学会，日本機械学会，日本合成樹脂技術協会，
日本材料学会，日本接着学会，日本塑性加工学会，日本金型工業会，日本トライボロジー学会，
日本複合材料学会，日本レオロジー学会，プラスチック成形加工学会，マテリアルライフ学会（予定・順不同）

現在，ゴム製品の多様化に対してゴム配合技術および加工設備も進歩してきた。当成形加工分科会においてはゴム製品の生産性と品質の向上に対して，昨年来，生産工程および製品におけるトラブル対策の把握と対策について考察してきた。今回はその第二弾として各種ポリマーに関してそのトラブル対策について議論する。多くの方のご参加をお待ちしております。

日時：2017年10月24日（火） 9：50～16：50

場所：東京電業会館 地下ホール（東京都港区元赤坂1-7-8） TEL：03-3403-5181(代)

受講料：日本ゴム協会会員 協賛団体会員 23,760円 日本ゴム協会学生会員 5,400円

※受講者が日本ゴム協会の正会員でない場合でも，ご所属の会社が法人としてゴム協会会員（賛助会員）の場合は2名様まで会員扱いの受講料で受付けます。

シニア制度対象会員 11,880円（60歳以上の正会員） 会員外 32,400円

申込方法：弊会ホームページ<http://www.srij.or.jp/>よりお申込みください。（定員80名）

送金方法：銀行振込（三井住友銀行 日比谷支店 普通No.7100847 一般社団法人日本ゴム協会）。振込み手数料は受講者側でご負担ください。一度ご入金された受講料は返金いたしかねますのであらかじめご了承ください。

開催日までにお振込ください

問合せ先：一般社団法人 日本ゴム協会 第238回ゴム技術シンポジウム係
（〒107-0051 東京都港区元赤坂1-5-26 東部ビル1階
TEL 03-3401-2957 FAX 03-3401-4143 E-mail：okada@srij.or.jp）

	演 題	講 師・座 長
9：50～10：00	開会のあいさつ	成形加工技術研究分科会主査 石川 泰弘
10：00～10：30	「各種ゴムの成形加工におけるトラブル対策の比較」	（一財）化学物質評価研究機構 近藤 寛朗氏
10：30～11：20	「押出設備から見たトラブル対策」	西澤技術研究所 西澤 仁氏
	押出加工での発生トラブルは，押出機の選択，押出プロセス（ホッパー，スクリュウからダイまで）の設計と適正な加工条件の設定に影響される。今回は，この点に注目して説明する。	
11：20～12：10	「射出成形設備から見たトラブル対策」	三友工業(株) 西村 聡史氏
	設備側から見た製品不良の要因とその対応方法及びご提案について	
13：00～13：40	「汎用ゴムのトラブル対策」	元・横浜ゴム(株) 石川 泰弘氏
	特殊ゴムと異なり，汎用ゴムの使用については，特定の物性を得るといふことより，一般物性（S-S曲線特性），粘弾性特性をコントロールして使用する。このことで最も基本的なことは引っ張り強度，破断伸びのような破断物性を高く保つということが，必須である。このためには加工中の分子量低下をいかに防ぐかということであり，そのためにはいかに低温加工するかということである。このことに関するトラブルについて論じる。	
13：40～14：30	「HNBR，ACMの加工性とトラブル対策」	日本ゼオン(株) 永森 弘康氏
	HNBR，ACMの基礎について概説し，混練および成形加工性とトラブル対策について紹介する。	
14：30～15：10	「EPDMの成形加工時のトラブル対策」	住友化学(株) 渡部 健太氏
	成形加工時のトラブルのポリマー面からの対策に関して報告する。	
15：20～16：00	「シリコンゴム加工の基礎，課題，展望」	戸知技術研究所 戸知 光喜氏
	シリコンゴム加工は，シリコン原料の合成，充填剤・添加剤の配合，架橋剤・顔料の調合，架橋反応を伴う成形というステップからなるが，それぞれの特徴，課題，展望を概説する。	
16：00～16：40	「フッ素ゴムのトラブル対策」	ダイキン工業(株) 徳平 勝貞氏
16：40～16：50	閉会のあいさつ	成形加工研究分科会副主査 近藤 寛朗

※プログラムは一部変更になる場合がございます。

☆お申込みはホームページ<http://www.srij.or.jp/>からお願いします。